中村覚　前近代日本史情報国際センター　助教

【研究活動】

研究テーマ　多様な情報の関連付けによる史料活用と研究環境の高度化に関する研究

〔論文〕鳥居克哉・中村覚・山田太造・稗方和夫「日本史学者の要求分析に基づく歴史資料のトピック推定システムの開発」情報処理学会 第83回全国大会、2021年／Satoru Nakamura「The University of Tokyo Digital Archives Development Project: Developing an Approach for Utilizing Academic Assets across Different Organizations」The National Museum of Japanese History. Japanese and Asian Historical Research In the Digital Age.、2021年（査読有）／永井正勝・中村覚・和氣愛仁・高橋洋成「ヒエラティックとヒエログリフの対応関係の再検討に基づくHieratische Paläographie DBの更新」研究報告人文科学とコンピュータ（CH）、Vol.2020-CH-125、2021年／中村覚・高嶋朋子「持続性と利活用性を考慮したデジタルアーカイブ構築手法の提案」デジタルアーカイブ学会誌、Vol.5、No.1、2021年（査読有）／小川 潤・永崎 研宣・中村 覚・大向 一輝「時間的文脈情報を含む社会ネットワーク記述のためのデータモデル設計と一次史料を用いたデータ構築の実践：カエサル『内乱記』を事例に」じんもんこん2020論文集、Vol.2020、pp.215-222、2020年（査読有）／金 甫榮・中村 覚・小風 尚樹・橋本 雄太・井上 さやか・茂原 暢・永崎 研宣「TEIを用いた『渋沢栄一伝記資料』テキストデータの再構築」じんもんこん2020論文集、Vol.2020、pp.47-52、2020年（査読有）／中村 覚・永井 正勝・和氣 愛仁・高橋 洋成「Hieratische Paläographie DBの構築」じんもんこん2020論文集、Vol.2020、pp.191-196、2020年（査読有）／成田健太郎・中村覚・水野遊大「法帖画像アーカイブを研究資源として活用するために」書学書道史研究(書学書道史学会)、Vol.30、pp.71-82、2020年（査読有）／中村覚「Cultural Japanの構築におけるジャパンサーチ利活用スキーマの活用」デジタルアーカイブ学会誌、Vol.4、No.4、pp.348-351、2020年（招待有）／中村覚・田村隆・永崎研宣「源氏物語本文研究支援システム「デジタル源氏物語」の開発におけるIIIF・TEIの活用」研究報告人文科学とコンピュータ（CH）、Vol.2020-CH-124、No.2、pp.1-7、2020年／岡崎敦・藤川隆男・佐治奈通子・中村覚・田野崎アンドレーア嵐・濱野未来・大邑潤三「特集 デジタル・ヒストリーの諸実践」クリオ = Clio : a journal of European studies、No.34、pp.117-140、2020年（招待有）／Ogawa, Jun・Nakamura, Satoru・Ohmukai, Ikki・Nagasaki, Kiyonori「Creating a New Semantic Model for Ancient Greco-Roman Prosopography-Toward a Contextual & Historical Description of the Prosopographical Data-」Digital Humanities 2020、2020年（査読有）／高橋大成・中村覚「貼り込み形式の資料に対するフォント画像を用いたテキスト検索手法の検討 - 東京大学総合図書館所蔵『捃拾帖』を対象として」研究報告人文科学とコンピュータ（CH）、Vol.2020-CH-123、No.1、pp.1-6、2020年／中村覚・宮本隆史・片桐由希子「コミュニティ・アーカイブの方法論の構築に向けて: 千代田区におけるデジタルアーカイブ・ワークショップの事例より」デジタルアーカイブ学会誌、Vol.4、No.2、pp.109-112、2020年

〔書籍等出版物〕嘉村, 哲郎・高野, 明彦「デジタルアーカイブ・ベーシックス 4：アートシーンを支える」勉誠出版、7, 295p、2020年／吉見, 俊哉・森本, 祥子・岡本, 拓司・加藤, 詔士・苅部, 直・佐藤, 健二・武田, 晴人・永井, 良三・中村, 覚・橋本, 毅彦・藤森, 照信・藤原, 毅夫・大和, 裕幸・吉沢, 誠一郎「東大という思想 : 群像としての近代知」東京大学出版会、v, 332p、2020年／中村, 覚・井上, 透「デジタルアーカイブ・ベーシックス 3：自然史・理工系研究データの活用」勉誠出版、233p、2020年

〔講演・口頭発表等〕中村覚・徐小潔・段宇・多々良圭介「機械は紙を見分けられるのか―紙質観察画像データベースの構築と画像分類における機械学習技術応用の試み―」紙のレンズから見た古典籍 -- 高精細デジタルマイクロスコープの世界、2021年（招待有）／中村覚「東京大学デジタルアーカイブズ構築事業の取り組みとその利活用について」2020年度KU-ORCAS国際シンポジウム：デジタルヒューマニティーズ推進のための環境構築とその課題、2021年（招待有）／中村覚「IIIF Curation Platformを用いたデジタルアーカイブの活用」第14回CODHセミナー：IIIF Curation Platform利活用レシピ100連発、2021年（招待有）／大和裕幸・中村覚「平賀譲における造船学と粛学のあいだ」東京大学工学部11号館HASEKO-KUMA HALLアカデミックセミナー#001・ビブリオシリーズ「吉見俊哉/森本祥子編著『東大という思想: 群像としての近代知』工学系編」、2021年（招待有）／中村覚「源氏物語本文研究支援システム「デジタル源氏物語」の開発におけるIIIFとTEIの活用」U-PARL [協働型アジア研究オンラインセミナー]IIIFに準拠した画像公開の方法とTEIとの連携、2020年（招待有）／田村隆・中村覚・中村美里・永崎研宣「「デジタル源氏物語」の構築と展開」国文学研究資料館 第6回日本語の歴史的典籍国際研究集会、2020年（招待有）／中村覚「ジャパンサーチとカルチュラル・ジャパン」図書館総合展 2020年度 フォーラム 正式公開となったジャパンサーチを使ってみる、2020年（招待有）／中村覚「Omeka Sを用いたIIIF対応デジタルアーカイブ構築の実際」CMSを利用したデジタルアーカイブの構築、2020年（招待有）／中村覚「Cultural Japan -- 日本文化に関する情報源のディスカバリーシステム」IIIF Week: Japan Showcase 「日本におけるIIIF関連活動の紹介」、2020年（招待有）

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(A)「コンテキストに応じた人文科学データパッケージ化に関する研究」（研究代表者 山家 浩樹）研究分担者／基盤研究(C)「近世中国の刑罰制度に関する総合的研究―軍制との関係を中心として―」（研究代表者 徳永 洋介）研究分担者／若手研究「IIIFとTEIを用いたオンライン翻刻支援システムの開発」（研究代表者 中村 覚）／基盤研究(C)「古代エジプト聖刻文字碑文の言語記述とIIIF画像を利用した情報共有システムの開発」（研究代表者 永井 正勝）研究分担者

【所・学内業務】

〔史料採訪〕松尾大社での調査・撮影

【所・学内行政】

〔学内〕情報基盤センター／学術資産アーカイブ化推進室

〔所内〕前近代日本史情報国際センター運営委員会／電子計算機緊急対応チーム／情報支援室

【学外活動】

〔委員会〕デジタルアーカイブ学会 第4回研究大会実行委員／Conference of Japanese Association for Digital Humanities プログラム委員／Text Encoding Initiative 東アジア/日本語分科会 運営委員／デジタルアーカイブ学会 学会誌編集委員／Code4Lib JAPAN カンファレンス実行委員

〔経歴〕国立歴史民俗学博物館／東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所／国立国会図書館